

【科目名】基礎運動学各論		【担当教員】高橋 洋、佐々木 理恵子
【授業区分】専門基礎分野（リハビリ関連科目）	【授業コード】3-15-0520-0-1	(メールアドレス) 高橋 : hirosh.月it@nur05.onmicrosoft.com
【開講時期】2年次前期	【選択必修】	佐々木 : sasaki@nur.ac.jp
【単位数】1	【コマ数】15	(オフィスアワー) 高橋 : 月、火、木、金 8:00～17:30 佐々木 : 月、水、木 8:30～17:30 (事前にアポイントをとることが望ましい)
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 特になし (受講のルールに関わる情報・予備知識) 特になし		
【講義概要】 (目的) 基礎運動学概論で習得した知識を、より臨床で活用できるように統合する。 身体運動、運動処方、歩行・動作分析、運動発達、運動学習についての的確に説明でき、理解を深められるよう学習することを目的とする。 (方法) 教科書を使用し、講義を中心に行う。		
【一般教育目標(GIO)】 ・身体運動について、四肢と体幹の運動を理解し、動作の分析方法を理解できる ・体力と運動処方について理解できる ・正常な姿勢、歩行について理解し、異常動作の分析方法について理解できる ・運動発達、運動学習について理解できる 【行動目標(SBO)】 ・身体運動と動作のメカニズムについて、これまで学習した解剖学、生理学、運動学の基礎知識を用いて説明することができる ・体力と運動処方の概要を説明することができる ・異常姿勢、異常歩行の概要を説明することができる ・運動発達、運動学習の概要を説明することができる		
【教科書・リザーブドブック】 基礎運動学各論 第6版 中村隆一 他		
【参考書】 担当教員より適宜指示する		
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 本学学則規程の GPA 制度に従う。 筆記試験を行い評価する		

平成 26～28 年度入学者用

【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成 果 発表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合		90	0	0	0	0	0	10	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識	○							
	思考・推論・創造の力								
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢							○	
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の 運営方法	学修課題(予習・復習)				時間(分)		
1	四肢と体幹の運動 1 (佐々木)	講義	・テキストを事前に読んでおくこと ・講義内容を理解すること				60 分		
2	四肢と体幹の運動 2 (佐々木)	講義	・テキストを事前に読んでおくこと ・講義内容を理解すること				60 分		
3	運動と動作の分析 1 (佐々木)	講義	・テキストを事前に読んでおくこと ・講義内容を理解すること				60 分		
4	運動と動作の分析 2 (佐々木)	講義	・テキストを事前に読んでおくこと ・講義内容を理解すること				60 分		
5	体力と運動処方 1 (佐々木)	講義	・テキストを事前に読んでおくこと ・講義内容を理解すること				60 分		
6	体力と運動処方 2 (佐々木)	講義	・テキストを事前に読んでおくこと ・講義内容を理解すること				60 分		
7	体力と運動処方 3 (佐々木)	講義	・テキストを事前に読んでおくこと ・講義内容を理解すること				60 分		
8	姿勢 (立位姿勢の異常) 1 (佐々木)	講義	・テキストを事前に読んでおくこと ・講義内容を理解すること				60 分		
9	姿勢 (立位姿勢の異常) 2 (佐々木)	講義	・テキストを事前に読んでおくこと ・講義内容を理解すること				60 分		
1 0	歩行 (異常歩行) 1 (佐々木)	講義	・テキストを事前に読んでおくこと ・講義内容を理解すること				60 分		
1 1	歩行 (異常歩行) 2 (佐々木)	講義	・テキストを事前に読んでおくこと ・講義内容を理解すること				60 分		
1 2	運動発達 (高橋)	講義	・テキストを事前に読んでおくこと ・講義内容を理解すること				60 分		
1 3	運動発達 (高橋)	講義	・テキストを事前に読んでおくこと ・講義内容を理解すること				60 分		
1 4	運動発達 (高橋)	講義	・テキストを事前に読んでおくこと				60 分		

平成 26～28 年度入学者用

			・ 講義内容を理解すること	
1 5	運動学習 (高橋)	講義	・ テキストを事前に読んでおくこと ・ 講義内容を理解すること	60 分

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。